

www.

cargraphic[®]
.com



+++ Hat Trick: Marc Basseng takes the overall Victory for an unprecedented 3 years in a row. +++

+++ GT-Class: 1st Place, best lap time 1.08.882 for the Porsche 997 GT3 RSC 4.0 +++

+++ Coupé/Cabrio-Class: 1st Place, lap time 1.12.042 for the Porsche 997 RSC 3.8 Cabrio +++

+++ Thanks to all our long term partners for their cooperation and support +++

BILSTEIN[®] **BUSS & SOHN** **MICHELIN** **H&R** **RDM Racing** **RECARO** **RS TUNING**

For Japan



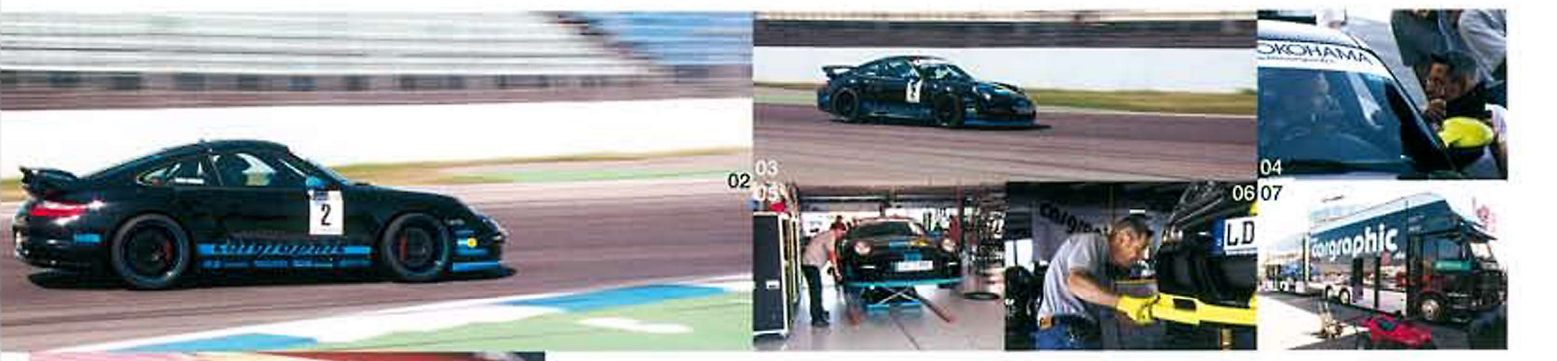
please contact Phone: 0798-68-5551 • www.cargraphic.jp



4-18 Ashihara-cho Nishinomiya-city Hyogo 662-0842 Japan

カーグラフィック日本総代理店 詳しい情報はWebサイト、お電話にてお問い合わせください

4連勝ならずも、
2-3フィニッシュ達成!!
cargraphic
CALL...カーグラフィックジャパン&ワイタミン西宮 [0799]88-5551 www.vjpn.com



昨年まで3年連続優勝を果たしていたカーグラフィックも、強力なポルシェチューナーのひとつ。今年は2台体制での参加で最後の最後までトップタイム争いを演じた結果(タイムは1分6秒946)、4年連続となるGTクラスの優勝こそ逃したものの、見事2-3位でフィニッシュして見せた。

2位となったのは今年新たに投入された997ターボGT RSC 3.6(ブルーがアクセントとなっている方)で、997ターボをベースに624hpを絞り出す。GT2ベースのテックアートとは異なり、4WDで参戦を果たしたところは興味深い。一方イエローがアクセントとなる997 GT3 RSC 4.0は、昨年の優勝車両で、GT3をベースに4.0へと排気量を拡大し465hpをたたき出している。

01.NAチューン+RRの997 GT3 RSC 4.0(左のイエローとターボチューン+4WD GT2ルック)の997ターボGT RSC 3.6を参戦させることで、あらゆるポルシェに対応可能な実力を備えていることがわかる。2台ともサスペンションにビルシュタイン、タイヤはダンロップで、その2社のブランドカラーともマッチしたカラーリングとなっていた。02.03.RR系の車両とはコーナーの走り方が微妙に違っていった。テックアートのタイム差は0.135秒。惜しくも4連勝はならず。04.代表のシュナール氏は慣っからのエンジニアで、先頭を立てて指揮を執っていた。05.ピット作業をしている右側にマフラーがディスプレイされているのがわかるだろうか。実は、チューナーGPは単にコンペティションの場ではなく、製品やデモカーを展示するカーショーイベントの色合いも濃い。ピット裏のスペースはもちろんだ。レース中のピット内でもスペクターは自由に入出りできるフレンドリーな雰囲気に満ちているのだ。06.おそらく一番よく働いてよく働いていたのは代表のシュナール氏。慣っからのチューナーだ。07.ピット裏にはカーグラフィックの巨大なトランスポーターが横付けされた。08.昨年の優勝車両、カーナンバー1番を背負う997 GT3 RSC 4.0。09.実はご覧のとおりカーグラフィック(左)とテックアートのピットは隣同士だった。いやがうえにも盛り上がるというもの。

